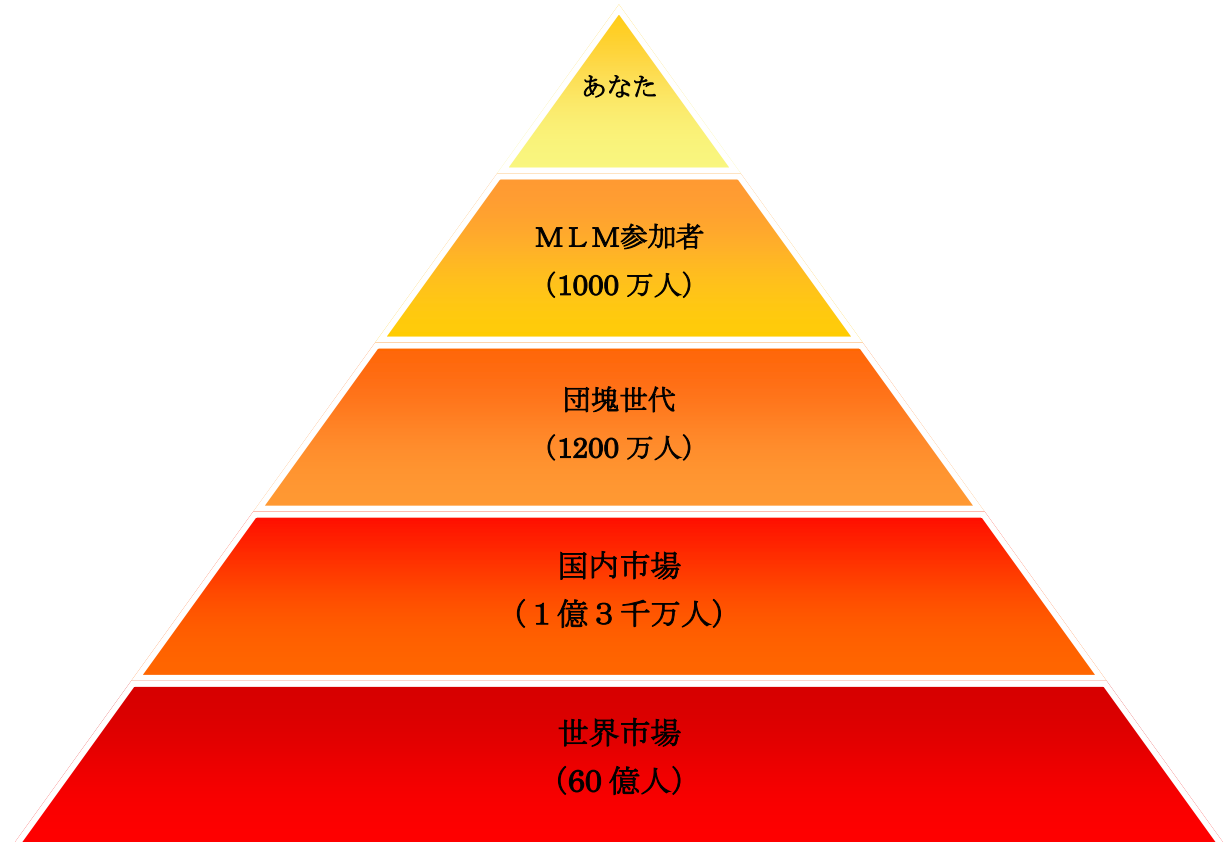


KING OF BUSINESS NETWORK BUSINESS

ネットワークビジネスの案内



ネットワークビジネス 未来館

ネットワークビジネス未来館
<http://www.networkbusiness.gr.jp/>

未来永劫に続く権利収入を築きたい方へ

世界中に、僅かな投資で大きな夢を叶えた人たちがいます！

「ネットワークビジネス」と聞くと。そのシステムの類似から、「ねずみ講」？「悪徳マルチ」？ だと思われる方もまだまだいるかもしれませんね。もちろん、「ねずみ講」「悪徳マルチ」ではなく、立派な、いや、かなり可能性があり、現実には多くの起業家、経営者が巨万の富を得ているビジネスです。そして、世界の多くの有識者がネットワークビジネスのシステムを支持されています。

有名なところでは、「金持ち父さん貧乏父さん」のロバート・キヨサキ氏、元アメリカ大統領のビル・クリントン氏、日本最大の経営コンサルタント会社船井総合研究所の船井幸雄氏、不動産王のドナルド・トランプ氏などがネットワークビジネスを絶賛されています。



「私には金持ち父さんがいたから今の成功があるが、今の人たちには成功する為にネットワークビジネスの世界最高の教育システムがある」ロバート・キヨサキ



私はことあるごとに「21世紀には世の中が大きく変わる、その変化は日本からはじまる」と言ってきました。ネットワークビジネスに携わる人々が、その変革の原動力になるのではとさえ思っています。船井幸雄

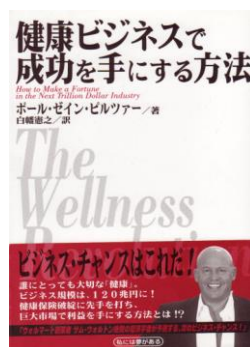
今後10年で1000万人の億万長者が誕生

アメリカ大統領直属の政府経済顧問であり、ベストセラー「120 兆円市場・健康ビジネスで成功を手にする方法」の著者でもある、ポール・ゼイン・ピルツァー氏は、2006 年から 2016 年の 10 年間で 1000 万人の億万長者が誕生すると言っています。

これはその前の 10 年間と比較すると 2 倍以上です。

さらに重要なことに、その新しい億万長者の多くが直接販売業界(ネットワークビジネス)から誕生すると、ピルツァー氏が明確に述べています。

(2006 年 4 月発売のサクセスフロムホームより)



そうです！ネットワークビジネスは 21 世紀の花形産業なのです。

では、なぜネットワークビジネスが 21 世紀の花形産業なのかを具体的に、そしてネットワークビジネスで巨万の富を取り続ける秘密をお教えしましょう。

感動の輪が巨大な流通網に

ネットワークビジネスは「人から人へ」、いわゆる「クチコミ」をベースとした流通形態をとっています。従来の大手企業が圧倒的な資金力にものをいわせた広告展開による販売スタイルと違い、「営業社員」も置かず、「広告」展開もしないネットワークビジネスが「クチコミ」だけによる販売スタイルだけで年間数百億円から数千億円の売上げを毎年上げています。

なぜ？「営業社員」のいない会社が、「広告」をしない会社が圧倒的な売上げを上げる事ができるのでしょうか？

正確に言いますと、ネットワークビジネスには「営業社員」はいませんが、「営業消費者」、「販売消費者」、「広告消費者」はいます。すなわち、商品を購入したすべての方が、その商品を伝え（広告）、興味を持っていただいた方に販売して収入を得る権利が持てるのです。

考えてみて下さい！もし、セブンイレブンの商品、マクドナルドのハンバーガー、シェルのガソリンを購入した方が同じように「クチコミ」で周りの方に伝えて、その方たちが興味を持ち商品を購入した場合、伝えた「あなた」には広告料としてマージンが入るのです。そして、その方たちが商品を購入し続ける度に「あなた」には権利収入としてマージンが入り続けます。

それがビジネスではなくても、「あなた」は過去に多くの「クチコミ」をしています。「商品を使った感動」、「映画を見た感動」、「本を読んだ感動」、「旅行に行った感動」、「料理を食べた感動」など、本当に多くの「感動」を「あなた」は周りの人たちにお伝えしています。そして、もし、「あなた」の感動を伝えた結果、「あなた」の周りの方が、その「商品を購入」、「映画を見に行く」、「本を買う」、「旅行会社で旅行を予約する」、「レストランに料理を食べに行く」などの行動に移した場合、それが、ネットワークビジネスのシステムなら、「あなた」には収入、または権利収入が発生するのです。

「クチコミ」は、最も歴史が古く、最も人間の感情（エモーショナル）を揺さぶる最先端のエモーショナル広告であり、その連鎖がとてつもなく巨大な感動ネットワークを構築していき、「感動」の波が、池に落とした小石から広がる波紋のように広がる為、巨大な流通網（感動ネットワーク）から多くの収入を得る事ができるのです。



「ネットワークビジネス時代の到来です。数え切れない程多くの人々にとって、実現可能な起業と独立の方法である事が否定出来なくなりました。」

ステファン・R・コヴィー 「7つの習慣」の著者。世界でも最も影響力のあるビジネスの思想家。

ネットワークビジネスの特徴

- ☐ 120兆円のウェルネス市場に参入できます。
- ☐ 150兆円の団塊世代マーケットに参入できます。
- ☐ 消費者に直販のダイレクトマーケティングです。
- ☐ 店舗は必要ありません。
- ☐ 小資本(1万円から3万円程度)で参入できます。
- ☐ 収入の上限がありません。
- ☐ 時間的な制約はありません。
- ☐ 経営者、医者、弁護士、スポーツ選手、サラリーマン、主婦など誰でも参入できます。
- ☐ 仕入、配送、集金などはありません。
- ☐ 在庫商品はありません。
- ☐ 海外への組織構築もできます。
- ☐ 営業社員を雇う必要はありません。
- ☐ 商品購入者が営業マンになります。
- ☐ 商圏がありません。
- ☐ クチコミの販売ができます。
- ☐ DM、ポスティング、新聞折込などの広告展開もできます。
- ☐ インターネット、モバイルの展開もできます。
- ☐ 流通組織からの権利収入になります。
- ☐ 未来永劫、権利を譲渡できます。
- ☐ 最高峰のビジネス教育が受けられます。
- ☐ 海外報償旅行が受けられます。
- ☐ 株のストックオプションが受けられます。
- ☐ 退会は簡単にできます。



不動産王の「ドナルド・トランプ」氏が、
「私が無一文になったら、ネットワークビジネスを始める」
とテレビ番組でコメント

アメリカのテレビのトークショー番組でのお話。アメリカで知らない人のないくらい有名な不動産王ドナルド・トランプ氏がゲストだった時のこと。



司会者：あなたは凄い資産家ですが、もし今、無一文になったとしてもまた資産を築く自信はありますか？

トランプ氏： ええ、もちろんありますよ。

司会者： やはり不動産ですか？

ほんの少し間をおいたあと…、

トランプ氏： いいえ。無一文から手っ取り早く資産を築くのであれば、私は急成長している優良なネットワークビジネスを見つけ出して、そのディストリビュータをはじめます。 と答えたそう。

どんな回答が聞けるかと、観客が注目していたトークショー会場にどよめきが起こったそう。何か億万長者になる秘策をトランプ氏から聞けると期待していた観客は、彼の意外な言葉にいっせいにブーイングをした。

その時、

トランプ氏： 今ブーイングをした皆さん。だから皆さんはそちら側に座って私のトークを聞き、私はこうして有名なトークショーのゲストとして呼ばれているのです！！ このトランプ氏の一喝で、会場は静まりかえったそう。

ネットワークビジネスがなぜ？最強のビジネスモデルなのか！

『ネットワークビジネス』 = (「フランチャイズビジネス」 + 「指数関数的成長」)

フランチャイズビジネスとは

1つの成功する「システム」を開発し、何をするべきかを詳細に記録し、その「モデル」を他の誰にでも教えることができるようにすることである。

1950年初頭、ミルクセーキ調理器具のセールスマンであったレイ・クロックが、マクドナルドという名のファーストフードのフランチャイズの権利を買い、フランチャイズ（複製）を完璧なビジネスモデルにした。当時は、フランチャイズも殆どの人が詐欺だと思い、米国連邦議会は、フランチャイズを法律で禁止しようとした。

しかし今や、フランチャイズに対する理解は、当時と比べると180度変わってしまった。専門家の試算では、アメリカの商品とサービスの34%～60%はフランチャイズを通じて流通しており、世界中の経験豊かな投資家は、利益を生み出すことが実証済みのフランチャイズ権の購入に数億円を投資しているという。

1996年には54万のフランチャイズが世界で98兆2400億円の売上を記録し、今日ではその数倍以上の記録的な伸びを示している。

フランチャイズビジネスの長所と短所

本部の看板（のれん）が使える。

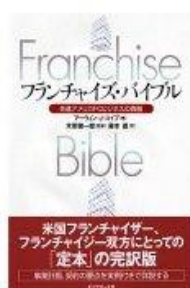
本部の開発したシステム、マニュアルが利用できる。（複製できる）

高額な加盟金が必要。

ロイヤリティーを本部に支払う。（3%～10%）

商圏が制限される。

従業員が必要。



指数関数的成長とは

「指数関数（複利）」とは、「2乗」として知られるように、最も洗練された掛け算である。たとえば次のような式で表される。

$$[5^2 = 25]$$

対する「直線的」とは、足し算のような単純で基本的な関数だ。たとえば次のような式で表される。

$$[5 + 5 = 10]$$

直線的成長は、少しずつ少しずつ増えるという特徴がある。（フランチャイズビジネス）

指数関数的成長は、急激的かつ劇的に増えるという特徴がある。（ネットワークビジネス）

数学の天才アルバート・アインシュタインは「複利」を「世界の8番目の不思議と言った」

世界でもNO1の資産家といわれるウォーレン・バフェットの設立した投資ファンドが、複利による指数関数的成長の一番の例だ。もしあなたが1956年に100万円をバフェットのバークシャー・ハサウェイファンドに投資し、その利子と配当を年々再投資していたのなら、現在あなたの投資額は、80億円の価値になっている。

フランチャイズビジネスを超えたビジネスモデル

ネットワークビジネスはフランチャイズビジネスの長所（複製）を取り入れ、短所（高額な加盟金、他）を排除し、かつ直線的成長ではなく指数関数的成長（複利的）が見込める最強のビジネスモデルである。



フランチャイズビジネス vs ネットワークビジネス

どちらが伸びる

夢を叶えるネットワークビジネス

著者の経験に基づいた結論は、この小見出しをみて頂ければ一目瞭然であるはずだ。いままで述べてきたことを、経験に基づいて総合的に判断すると、ネットワークビジネスに軍配が上がってしまう。

（「21世紀 フランチャイズビジネス v s ネットワークビジネス
どちらが伸びる」 より）

著者 大友義隆

フランチャイズ業界雑誌社に勤務。ヤマノビューティーグループのグループ企業において、フランチャイズ本部の常務取締役として勤務。その後、フリーランスの小集団分散型組織づくりをコンサルタントとしてサポート。

1990年初頭では2兆円の産業だったネットワークビジネスが、年10%以上で伸び続け、1996年には全世界で10兆円の売上を達成している。

私たちは、まさにネットワークビジネスの黄金時代に入りつつある。今日のネットワークビジネスは20年前のフランチャイズと同じところに立っている。ということは、最高点にまだ到達していないということだ。ネットワークビジネスの指数関数的利点のおかげで、私は、この産業は次の10年のどこかでフランチャイズの売上げを超えるようなところまでいくと预言する。

これは一時的なものではなく、世界規模のムーブメントだ。私はこれをE²ムーブメントと呼ぶ。E²は、『爆発的に成長する起業家』を意味する。そしてネットワークビジネスは、自宅から起業するというSOHOの波を利用する。これは地球を吹き飛ばすぐらいの勢いのあるものだ。

あなた自身に問いかけてみてほしい。

『私はこの十年に起こるネットワークビジネスの傍観者になるのか？ または、その爆発を起こし、その過程で利益を生み出す当事者の1人になるのか？』

(超「コピーキャット」成功術 から)



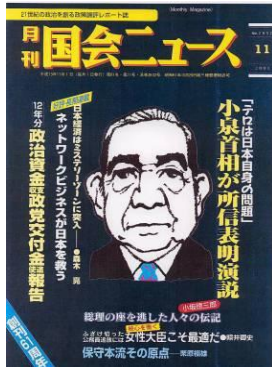
多くのメディアで取り上げられる



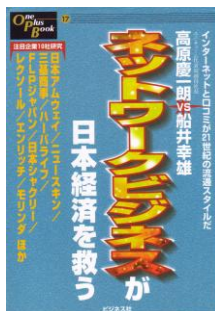
ネットワークビジネスが日本経済を救う

今、日本経済は多くの難関に差し掛かっています。大手企業の統合、再編による一局集中、人件費の高騰による空洞化、金融不安による設備投資の縮小、世界的な石油の高騰など、まだまだ先行不透明な感があります。

そんな中、世界的にネットワークビジネスに注目が集まっています。



国会関係者が購読している
マンスリーマガジン



政治家もネットワークビジネスに注目

月刊国会ニュース 11月号（発行：株式会社国会ニュース社）の表紙に注目。見出しには「ネットワークビジネスが日本を救う」と大きく印刷されている。本誌内では、経済評論家（経済学博士）の森下亮氏によるネットワークビジネスに対する記事がかかれています。

タイトル 日本経済はミステリーゾーンに突入ネットワークビジネスが日本を救う

ねずみ講やマルチまがい商法への類似から一般に誤解があるにしても、これだけ大きなビジネスがまともに研究せいされていないことは私としては怠慢であったと反省している。

21世紀型在宅勤務（副業ビジネス）ビジネスの一大潮流は消費者の参加と参画ではなかろうか。消費者が自らの「知」をもって自発的に参加したくなるような共感のもてる企業理念を提示し、その理念の現実に向けて共に行動する「場」を創る過程で「財」をつくり福を呼ぶことだ。

（国会ニュース より）

政治的側面から業界をバックアップする

「流通ビジネス推進政治連盟」が誕生！

「21世紀の流通産業」であるネットワークビジネスの法的整備と社会的認知の為に発足。

新しい流通システムとして世界的に注目され認知されつつある「ネットワークマーケティング」を偏見なく真摯に研究し、育成することが、いま日本経済が世界に立ち遅れないための緊急の課題です。（設立趣意書 より）

<http://www.npu.gr.jp/>

ネットワークビジネス未来館
<http://www.networkbusiness.gr.jp/>

現在ネットワークビジネスのシステムを取り入れている企業は世界で5000社以上あると言われ、一部例を挙げるとすれば、ジャスコ、カネボウ、SONY、森下仁丹、ダイエー、コカコーラ、ジレット、ジョンソン&ジョンソンなども子会社でネットワークビジネスを展開しています。ネットワークビジネス発祥の地アメリカでは「マルチレベルマーケティング」(多段階)とも言われますが、「シングルレベルマーケティング」(1段階)と言う視野で見れば、世界最大の書店のアマゾンドットコム、日本最大のE-ショッピングモール楽天などが採用するアフィリエイトシステムも「シングルレベルマーケティング」であり、「シングルレベルマーケティング」を採用している企業を入ると本当に多くの企業が、消費者からの「クチコミ」マーケティングを採用しています。

ネットワークビジネス企業の多くは、「クチコミ」の優位性から、「感動」の体感を得やすく、伝えやすい健康関連の商品を扱っています。

健康関連商品は世界的にも非常に好調な産業であり、21世紀は世界で120兆円市場になると推測され、日本でも高齢化社会を反映して健康関連商品のニーズは益々高まっています。また、2007年からは団塊世代の退職が始まり、退職金で30兆円、預貯金は120兆円、合わせて150兆円の資産を有する団塊世代のマーケットが注目され、多くの企業が虎視眈々と狙っています。



経済学者
ベストセラー作家
ロバートアレン



各界の賢人たちがネットワークビジネスに注目

ネットワークビジネスには、コルゲート=パーモリーブ、ジレット、エイボン、コカコーラ、そしてMC I など、フォーチュン500（経済誌「Fortune」が毎年掲載する売上規模上位500社）に名を連ねる多くの企業も注目しています。最近では、テレコミュニケーションの巨大企業、AT&Tがネットワークビジネスによる長距離電話サービスを開始しています。（中略）医者、教師、宇宙飛行士、フォーチュン500の経営陣、有名な俳優、ベストセラー作家、健康関連のプロ、大学教授、スポーツの監督、オリンピック選手、世界記録保持者、カイロプラクティック療法士、看護婦、科学者、銀行員、弁護士などあらゆる業界の賢人たちが、このビジネスに群がり始めているのです。これまでネットワークビジネスなど考えもしなかった多くの人たちが、いま現れ始めた「第3の波」を心から歓迎しているのです。（億万長者入門の第8章から抜粋）

各界有識者・経済誌のネットワークビジネスへの見解



アメリカ合衆国 前クリントン大統領からのメッセージ

ビル・クリントン前アメリカ大統領より米国直接販売協会 (DSA) 向けにメッセージが寄せられました。アメリカで誕生し、世界に広がって確固たる地位を築いた直接販売の業界とそれに携わるディストリビューターの皆様を賞賛し、寄せられたものです。

アメリカの経済を成長させ、多くのアメリカの人々のために、夢を生きたものにしてくれている多くのディストリビューターの方々に、お話しする機会を得て光榮に思います。アメリカでは、それぞれの役割を果たすよう努力し、自分自身や家族の責任を自分が負うとするなら、将来を切り開くチャンスは、自分で手にしなければならないということです。これがアメリカの基本精神です。私もこうすることで、大統領の地位に登りつめました。直販業もこうすることで地位を確立してきたのです。

皆様方は、自分の成功を追い求めるだけでなく、他の人々にもチャンスを提供しながら、われわれの国と経済を強くしてくれました。また、事業欲を躍起し、個人の独立心に答えようという世界的な行動の一翼を担っており、国内外を問わず躍進を続けて来ました。

96年は、700万人のアメリカ人の方々が直販業界に従事していました。平均して毎週6万9千人のディストリビューターと呼ばれる方々が、新たに皆さんの業界に参加しました。チャンスを提供するだけでなく、アメリカの社会を築いてくれます。皆さんのうち、30万人を超える方々が65歳以上であり、50万人以上が何らかの身体的傷害を持った方です。3/4は女性で明日の生活を心配すること無く、御自分の家族の強固な基盤をつくろうと努力し、強い子供を育てる努力もしているのです。実際、皆様方の活動は世界中で、私たちの価値を高めてくれています。

世界中では、現在2100万人の方々が直接販売に携わり、125ヶ国に広がっています。私が、この業界に注目するようになって、数年が立ちますが、ロシアでも10万人以上の方が直接販売員になっており、中国でも60万人以上に上っているという事実には驚かされました。しかし、私たちは、直接販売が提供してくれているチャンスというものを、さらに必要としています。皆様は多くの人々に、自分の人生を切り開くチャンスを提供しています。これは、わたしに言わせれば、アメリカン・ドリームの真髄です。何百万人の方々にそのチャンスを提供し、日夜さらに多くの方々に広める努力をしている皆様に、謝意を表したいと思います。

皆様方の活動に対して感謝いたします。皆様に神の祝福を！そして、アメリカ人にも！

三菱総合研究所特別顧問 牧野昇



そのシステムが正しく理解されていないため、ねずみ講やピラミッド商法と紛れて考えられて、ネガティブなマスコミ情報に悩まされているケースが起きています。(中略)それはMLMについての定義や実態、海外事情、歴史的沿革、組織について知識欠如が原因と考えられます。MLMを批判するのは簡単です。しかし、それに代わる選択肢を提供できるでしょうか？この女性のように、働いた経験があまりない人が六十歳を過ぎて自立できるような仕事に出会うということは、今日のビジネス社会では到底不可能なことです。それを可能にするのはMLMが適当であるというのが現状なのです。

ユダヤ人大富豪の教え 著者 本田健



「現在の世の中は、経済価値や喜びを与えた人間が豊かになるようになっているんだよ」

「そうか、人を喜ばせている分だけ、見返りにお金を受け取っていると考えればいいんですね」

「そのとおり。マルチレベルマーケティングビジネスについても同じだ。一度ビジネスを立ち上げて、流通を起こすことができると同じように自由人になることができる」

「マルチレベルマーケティングビジネスって何ですか？」

アメリカでもまだまだ誤解が多いビジネススタイルでね、個人が商品の販売網を広げて、その流通した金額に応じて収入が増えるシステムなんだ」

図を書いて説明してくれた。

「それってねずみ講ではないんですか？」

「ねずみ講は先に入った人間がすべてのお金を取る。マルチレベルマーケティングビジネスは、その人が起こした流通の金額によって収入が決まる。必ずしも先に入ったからといって、収入を多く取れることにはならないんだよ。このスタイルのビジネスは、今から増えていくだろう。時代の流れが個人に向かっているからね。日本でも、将来きつと広がると思う。日本人は、人間関係を大切にするというからね」(大富豪グラウ氏の教えより)

経済界 2004 「ネットワークビジネス攻略法」より



現在、自立と自己責任をしたたかに確立する生き方が求められている。こういう時代背景にあって、なぜ、もっと積極的に調べようしないのか。ネットワークビジネス最大の特色は、正しいやり方を覚えれば、今の生活や仕事を続けながらも、少ないリスクで、新しい収益構造を手に入れられることにある。この新しいビジネスモデルの台頭を無視することはできない。

ネットワークビジネスの書籍（1）



ネットワークビジネスの書籍（２）

